

会 議 録

会 議 の 名 称	平成24年度あま市防災会議
開 催 日 時	平成25年3月26日(火) 午後2時から午後4時まで
開 催 場 所	あま市役所本庁舎3階 市長公室
議 題	あま市地域防災計画の修正(案)について
会 議 資 料	あま市防災会議次第 あま市地域防災計画(案) あま市地域防災計画新旧対照表
公開・非公開の別 (非公開の場合は その理由)	公開
傍 聴 人 の 数 (公開した場合)	0人
出 席 委 員	山田登志男、山崎之孝、松永裕和、石田隆義、林有二、福田学、木村利男、伊藤嘉規、吉川景男、水谷康治、八島進、青木精三、浅野守彦、渡邊剛、鷺尾秋香
欠 席 委 員	村上浩司、大村敦彦、橋本達明、増井恒夫、富田悦充
事 務 局	(安全安心課) 横井課長、近藤係長、石川主事

会議録（要旨）

- 1 会長あいさつ
- 2 委員委嘱について
- 3 あま市地域防災計画の修正（案）について

●事務局

あま市地域防災計画（案）及び参考資料により説明

【質疑応答】

○委員

計画の中で、「ものとする」、「つとめる」、「はかる」、「盛り込む」、「考慮する」といった文言がさまざま出てくるが、それぞれの順位付けはどのようなものか。

●事務局

文言につきましては、市の措置、実施機関等の措置など、それぞれの言い回しとして使い分けられているが、重要度は全て必要であると考えており、順位を定めるものではない。既に実施済みの項目もあるが、未実施の項目については、市の施策にあわせ、できることから順次実施していく予定である。

○委員

計画内において、日本赤十字、医師会や医療機関などが記載されているが、長年、防災訓練等にも積極的に協力している歯科医師会についても今後、様々な項目に入れていただきたい。

●事務局

来年度の修正時にあわせて修正していきたい。

○委員

避難所を夜間でもわかるよう震度感知によるフラッシュライトなどの看板にするなど工夫してほしい。

●事務局

他の事例等を参考にしつつ、看板については検討していきたい。

○委員

高層建物などの民間施設の一時避難所としての借上げは考えているか。

●事務局

ある区において、独自に民間施設との協定を締結する際に市としても積極的に関与し、実施した。今後も共助の面で各自主防災会に広げていけるよう情報提供等を実施していく。

○委員

各自主防災会が地区に住まわれている方の情報をどう把握していくか。市から情報提供されるのか。

●事務局

現在、要援護者行動計画を担当課が作成し、民生委員にお願いし、要援護者の名簿作成を行っている。

○委員

2、3年前に民生委員において、65歳以上の高齢者世帯の調査を行い、地図上にわかるよう作成し、担当課及び民生委員で把握している。

○委員

他の自主防災会長からも避難訓練等で要援護者の対応を実施したいので情報提供の依頼があったが、今回の地域防災計画に盛り込まれたので期待したい。

○委員

消火活動における常備消防と自主防災会との役割分担について、何か基準はあるのか。

○委員

常備消防と自主防災会との活動基準の線引きはできないと思う。あくまでも初期消火における自主防災会の活動を否定できないし、活動していただくべきだと考えている。ただし、常備消防の活動の際に水利の確保等をお願いすることもあると思う。大規模火災時は、自主防災会や消防団に延焼防止措置をお願いすることになると思う。

【計画の修正について】

委員全員の賛成により原案のとおり決定